

令和2年度
(2020年度)

事業計画書

公益財団法人吹田市国際交流協会

【2020(令和2)年度 事業方針】

1. 組織運営及び事業展開について

先人の英知や努力のもと発展を続けてきた吹田市は、2020年度、市制施行80周年と中核市に移行という大きな節目を迎え、市民のまちへの愛着や誇りを一層高めるための取組を行いつつ、未来に向け更なる飛躍を遂げようとしています。

当協会は、吹田市との関係においてお互いの強みを生かし、多文化共生まちづくりの共通目標に向かって連携し、より安心安全で外国人を含むだれにとっても住みやすい魅力ある都市となるよう努めていきます。

2020年度は、吹田市との連携を最大限重視しつつ、大阪府、近隣市など関係行政機関、近隣国際交流諸団体、市内大学との連携を図り、様々な活動分野の市民団体、そして多くの国際交流ボランティアとの協働によって、地域全体に余すところなく事業展開を推進していきます。また、自主財源のより一層の拡充にも努めていく所存です。

当協会は今後も、公益財団法人として自主自立の精神を持ちつつ、公益事業の目的である多様な人や文化が尊重される豊かな地域づくりを目指していきます。

2. 公益目的事業の概要について

(1) 事業の趣旨

「人権尊重を基調とした地域社会づくり」を目的とし、多様な人々が共に暮らしながらより豊かなまちづくりに貢献できるよう、持続的な在住外国人支援と市民主体の国際交流・協力活動の推進に努めます。

当協会の事業運営には多くのボランティアの協力が不可欠であり、ボランティアの裾野を広げ、ネットワークを構築し、専門的な知識を獲得できるよう支援します。また、外国人自らがボランティア活動をすることによって、吹田市民のさまざまなコミュニティに積極的に関わり合い、柔軟で建設的な絆が築けるよう支援します。さらには、国際社会で活躍できるグローバル人材の育成に向け、協会の事業や他団体とのネットワークなど様々な場面で情報共有や学習機会の提供を進めます。職員は的確なコーディネーターができるよう常に自己研鑽に励みます。

(2) 事業の構成

「市民主体の国際交流・国際協力」「国際化推進の人づくり支援」「在住外国人の支援」の3分野で構成し、個々の特性を生かしながら一体的な事業を実施します。

3. 多文化共生のまちづくり

吹田市の多文化共生推進指針の基本的な考え方には、「全ての市民が国籍や民族、文化の違いを認め合い、人権が尊重され対等な地域社会の一員として、共に暮らすことができる多文化共生社会の実現を目指します。」と記されています。当協会も、日々の生活の中で、日本人市民と外国人市民等による相互の文化理解の機会を意識的に企画・提案し、互いに学び合い、多文化が地域社会に存在することそのものが市の魅力となるまちづくりを支援します。

当協会は、多文化共生のまちづくりの実現に向け、日本語教室、通訳ボランティアによる医療機関・行政窓口等への同行、居場所づくり、子どもの学習支援など様々な協会事業において在住外国人への支援を行います。さらには、在住外国人が地域の支援者、担い手として活躍できるよう働きかけます。

また在住外国人が地域の活力となるための協力者を増やす人材育成の場を作ります。このように日本人、外国人双方を対象とする事業を展開することで、多文化共生のまちづくりに取り組みます。

4. 日本語交流活動宣言

当協会は、日本語支援ボランティアと協働して、日本語教室での定期的な交流活動を通して地域に暮らす外国人の日本語とそれにまつわる暮らしの課題に関わり、同じ地域に住む市民として相互にそれぞれの文化や生活習慣を尊重し合い、より豊かな多文化共生社会の実現を目指して日本語交流活動に取り組みます。この内容は、令和2年度に始まる中期計画書「多文化共生アクションプラン」の中で宣言し、実行するものです。具体的な内容は、つぎのとおりです。

1. 外国人が自立した社会生活を行い、多様な人々とコミュニケーションを図り、地域に根ざして自分らしく豊かに暮らせるよう日本語習得の支援をします。
2. 同じ地域に暮らす市民として寄り添い、教室参加者がつながり、よい関係を築き、情報交換や相談ができる居場所となるよう努めます。
3. 活動を通してつながりの輪を広げ、地域のさまざまな人と交友を深め、だれもが安心して安全に暮らせる環境づくりに努めます。
4. 地域住民が外国人の日本語や暮らしの課題に関心を持ち、相互理解が深まるよう、地域社会に向けた広報活動に取り組みます。

5. 他団体・組織・機関との連携

多文化共生関係者のネットワーク構築と連携を目指し、近隣市を含む地域の各大

学や志を同じくする企業との連携事業、さらに大阪府国際交流財団(OFIX)や近隣他市の国際交流協会との協働を進めます。また、大規模災害時に設置される大阪府・大阪府国際交流財団(OFIX)による多言語支援体制と協力し合うために、日ごろから広域的な団体ネットワークの保持に努めます。

【2020(令和2)年度 事業の内容】

I 市民主体の国際交流・国際協力

市民が主体となって国際交流や国際理解を進め、多様な価値観を認め合い尊重し合う多文化共生社会の実現を推進します。

1. 友好交流都市との交流事業

友好交流都市カンタベリーバンクスタウン市とモラトワ市との交流に対し、吹田市と連携協力して進めていきます。

2020年度は、吹田市市制施行80周年記念事業として、友好都市との交流事業が予定されています。当協会もこれを支援します。

2. 国際交流情報の収集及び発信 (ホームページ以外は自主事業)

協会の活動紹介や報告、及び在住外国人に役立つ多言語情報、国際交流情報などをホームページに掲載し、また会報「SIFA Times」を発行し、地域の国際化につながる情報を発信します。また、フェイスブック等の活用により、タイムリーな情報発信を充実させます。さらには、ボランティア活動に関する情報はボランティア便りで、留学生や在住外国人に対しては、行政情報等の提供事業「多言語メーリングリストミヨリ I N F O」の活用で、多言語情報と国際交流情報の発信に努めます。

3. 市内大学との連携による留学生等と市民の交流

ア. 市内大学等のホストファミリープログラムの支援

大阪大学等と連携し、協会のホストファミリーボランティアが留学生を家庭に招き、日本の文化や生活を体験する機会を提供し、交流を通して相互理解を深められるようにサポートします。ボランティアの世話人を中心に運営します。

II 国際化推進の人づくり支援

多文化共生の理解者を増やししながら、未来を担う子ども達にも様々な体験学習の場を提供し、グローバルに活躍できる人材づくりを推進します。

1. 国際交流ボランティア活動支援

ア. 国際交流ボランティア登録

初めてボランティアを希望する方にも協会の理念や活動内容を十分ご理解いただいた上で、自主的に活動できるよう支援します。S I F Aや他団体の情報などを、ボランティア便りで発信します。

イ. ボランティア講座

ボランティア講座の研修を通して、多文化共生への理解を深め、ボランティア自身のスキルアップを目指します。

ウ. ボランティアによる日本語学習支援

・日本語チューター

1対1または1対2で日本語学習を支援します。学習者それぞれのレベルと学びたい内容に合った支援を行います。また、本活動を通して、外国人学習者と日本人ボランティアが共に学び、国際交流を深めます。将来的には、多文化共生の人づくり支援の観点から、ボランティアによる自主運営を目指します。

・にこにこ日本語

少人数クラスで、生活の場面に即して作られたオリジナルのテキストを使って、学習者のレベルに配慮しつつ学習を進めます。日本語での交流活動を通してボランティアと学習者が共に学び合い育ち合う機会にもなります。また、ボランティア同士で情報や体験を共有しながら自主的な運営の体制を整えていきます。

・みんなの漢字

2019年度文化庁委託事業により発足した、少人数グループで生活に必要な漢字の習得支援を行うクラスです。日本で生活する外国人が、仕事や子育てをする上で読み書きの力は不可欠であり、地域に根ざし、より豊かに暮らしていけることを目指して実施します。

・日本語わいわい

2019年度文化庁委託事業により発足した、外国人のボランティアが自らの学習経験や日本での生活経験を生かして、日本語及び生活のサポート等の活動を行う

クラスです。外国人が活躍できる場、安心して集える居場所を目指します。日本人・外国人ボランティアがいっしょに活動し、ボランティアの世話人を中心に運営します。

2. 語学教室（自主事業）

協会の語学教室は、語学力を伸ばす目的だけではなく、外国語に興味を持って様々な国の文化や習慣などについても学び、語学学習を通して異文化理解に繋がるような授業を展開します。外国語に慣れ親しむことで、国際理解への関心を高め、多文化共生のまちづくりを担う人材を育成します。また英語学習を通して子ども達の異文化理解を深め、グローバル人材の育成に努めます。前年度同様、通年のクラスの募集にも注力します。子育て中の方にも学習の機会を提供するために保育付クラスを開設します。また、協会の日本語教室に通う外国人市民との交流につながる機会もつくります。

英語、中国語、韓国朝鮮語、及び多言語クラスを開講予定で、比較的応募の多い幼児や小学校低・中学年クラスについては、前年度に比べて、クラスを充実させます。市民の皆さんに興味を持ってもらえそうな、サマーコースや文化的な内容とコラボした短期教室を充実させます。吹田市内の広範囲な市民に学習の機会を与える目的で、江坂教室及びJR吹田旭通教室を開講します。

3. 異文化理解・啓発事業

ア. 多文化まつり

市民と外国人が多文化まつりに集うことにより、地域交流を図り、異文化理解を深め、多文化共生社会の実現に寄与するイベントを開催します。3回目の開催となる今年度は、千里ニュータウンプラザの8F、6F、2Fの3か所を会場とし、各ブースで特徴のあるテーマを設定し盛り上げを図ります。

イ. 多文化共生講座「多文化ふらす」

国籍や民族、文化、言葉などの「違い」を尊重し、対等な市民として共に暮らすことができる多文化共生社会について理解を進め地域の国際化を牽引する人材育成のために、多文化共生講座「多文化ふらす」を開催します。従来から実施していた異文化理解講座「地球村ふらす」もこの講座に統合し、多文化共生社会づくりをより一層強力に推進していきます。

4. 子ども国際理解事業

在住外国人を講師とし、子どもたちにとって身近なテーマとなりえる世界の多様な文化や暮らしなどについて、国際理解を深めるプログラムパッケージを小学校などに提供します。今年度はさまざまな国の人が講師として参画しやすいプログラムに改善し、小学生にとってより魅力あるイベントにしていきます。

5. 国際交流団体等支援・連携事業

・共催・後援・協力事業の実施（自主事業）

国際交流や国際理解など多文化共生社会の実現に寄与すると認められる事業について、共催・後援・協力事業の形で支援します。

・MUSEたかつきカレッジクラブ講座（関大パンセ委託事業）

協会の講師を派遣し、子どもたちを対象にして異文化理解に向けた講座を開設します。

・関西大学南千里国際プラザとの連携（自主事業）

関西大学の留学生に対して、入学式・修了式への臨席を通じて協会の活動を留学生に知ってもらい、様々な場面で留学生に対する支援活動を進めると共に、地域社会における受入を促進します。

・国際交流協会ネットワークおおさか実行委員会との連携（自主事業）

本実行委員会に参加し、大阪府内の国際交流協会及び自治体と広域的に連携して、地域の国際化、国際交流、国際協力、多文化共生にかかわる諸問題に取り組みます。また、連携事業を通じて、当協会職員のスキルアップに役立てます。

・吹田市国際交流団体ネットワーク構成団体（自主事業）

地域のボランティア団体や国際交流関係団体、機関等のつながりの場を作り、異文化理解・多文化共生などの情報を共有し、連携できる体制を継続します。

Ⅲ 在住外国人の支援

地域社会において、地域に暮らす外国人が支援されるだけでなく支援する側となって地域コミュニティを担う人材となるために必要な支援や協働を推進します。

1. 日本語教室の開催（吹田市委託事業）

初めて学ぶ人から簡単な会話ができるレベルまで生活に必要な読み書きや会話を習得するために、日本語講師によるクラスを週2回2クラス開催します。交流イベントや生活情報などを提供し、日本の生活に早く慣れるよう支援します。保育付きクラスを設け就学前の子どもがいても学習できる機会を提供します。日本語発表会を年1回開催し、日頃の学習の成果を発表するとともに市民との交流を図ります。

2. コミュニティ通訳ボランティア同行事業

・コミュニティ通訳ボランティア病院同行事業

日本語による会話が十分でない在住外国人が、言葉の壁により医療機関等を利用する機会が失われないよう、コミュニティ通訳ボランティアを派遣し通訳を行います。この事業は、協会が進める「より安心して暮らせる吹田市」にとって重要なものであり、提携病院の拡大を進めます。

・コミュニティ通訳ボランティア行政窓口同行事業（吹田市委託事業）

日本語による会話が十分でない在住外国人が、言葉の壁により行政窓口にて惑うことがないように、コミュニティ通訳ボランティアを派遣し通訳を行います。通訳同行先は市の行政機関全般にわたっており、例えば学校の懇談会への同行など保護者と子どもたちにとっても安心・安全につながる事業となっています。今後は、いつでも、どこでも、どんな言語でも対応可能なコミュニティ通訳の将来像をめざし、先進地域のやり方を学びつつ、体制強化を図っていきます。

3. コミュニティ通訳ボランティアスキルアップ研修（吹田市委託事業）

病院及び行政窓口に同行するコミュニティ通訳ボランティアの技術向上と、最先端情報通信技術の使いこなし及びボランティア同士の情報の共有化を目指し、スキルアップ研修会を実施します。

4. 地域事業への在住外国人の参加促進（自主事業）

吹田まつり、市民公益活動団体が主催する各種イベント及び商店街が近隣市と共催するイベントなどの地域の行事に、在住外国人が参加できるよう支援します。また、日本語教室に通う学習者や、留学生を中心に「多言語メーリングリストミミヨリINFO」などを活用して地域情報を提供します。

5. その他の外国人への支援

ア. ハロハロSQUARE（外国にルーツをもつ子どもの学習支援事業）

日本語を母語としない子どもたちに安心できる居場所を提供するとともに、日本語や教科の学習支援を通して、将来に希望を持って日本で暮らしていく力を養えるように支援します。大阪大学グローバルイニシアティブ・センターとの連携事業として、また近隣大学の学生及び教育に関心の高いボランティアの協力を得て学習支援を行います。

イ. 帰国・渡日児童生徒支援事業（自主事業）

大阪府教育庁が進める「帰国・渡日児童生徒学校生活サポート事業」に対し協力します。また、「多言語進路ガイダンス」を通じ、高校受験などの進路選択のための情報提供と相談などに協力します。

吹田市教育委員会が主催する「日本語適応教室（さくら広場）」に協力します。

ウ. 子育て中の外国人支援「こあらくらぶ」

外国人ママ・パパの仲間づくり事業として子育て中や妊娠中の外国人に寄り添い、日本で安心して出産・育児ができるように外国人を支援します。のびのび子育てプラザや保健センター、ボランティアなどと協力して、交流や情報交換ができる交流会等を開催します。

エ. 行政情報などの提供（自主事業）

イコールアクセスを目的として、在住外国人も日本人と同じように行政などの情報が届くように、法律や制度の変更など必要な情報を提供します。国際交流情報の収集及び発信事業と補完しあい、ホームページやフェイスブック、会報誌やミミヨリINFOなどを活用して情報を提供します。また、無料の法律相談を定期的に行い、在住外国人が抱えている悩み事に対しても相談できる機会を提供します。

オ. 使える日本語（自主事業）

日本語学習中級者を対象に、仕事や地域などの社会参加をめざして「生活日本語」を学ぶクラスを開設します。多様なレベルの学習者に対応するため、教科書の選定に工夫をして魅力を高めます。